

介護保険

問 ①来年4月からスタートする介護保険だが、準備状況はどの程度進んでいるのか。②介護認定の審査をするメンバーの構成はどのような人たちなのか。③当町での保険料の支払いはいくらになるのか。

答 ①町では、平成10年に介護保険係を設置をし、約四千人を対象として高齢者の健康調査や介護に対する意向調査、あるいはまた、介護保険の試行的事業など、色々な準備作業に取り組んでいるところである。7月早々には、町内約30箇所地区説明会を実施し、みなさんのご意見等も伺う予定である。更に、介護保険事業計画策定委員会委員の選任も近々に行い、諸問題に対する諮問等をいただくように考えている。また、保険証の交付に関する事務や介護認定審査の準備も進めているところであり、今後もこれらの対応については、実情を的確にとらえながら迅速に対処してまいりたいと考えている。②介護認定を行う審査会については、大きな市などは別にして、町村単位で独自で行なうことはなかなか難しいことであり、当町でも山武郡市の各市町村との共同処理によって審査を行なってまいりたい

いと考えている。認定審査の広域化のメリットは、一つは委員の確保が容易になること、そしてもう一つは、比較的格差のない公正な認定ができることが上げられる。③県との第一回目の協議中ではあるが、最終的には2,500円前後になるものと思われる。

循環バス

問 高齢者の社会参加にはなくてはならない、町内循環バスをぜひ走らせてほしいのだが。

答 町内には、廃止代替バスとして多古・水戸線と蓮沼循環線、栢田浜循環線の3路線が、関係



廃止代替バスとして運行されている蓮沼循環線

市町村とともに共同出資して運行されており、このバス路線の維持費としては、平成10年度に年間三百万円足らずを支出している。町内循環バスについては、近隣では八日市場市や栗源町などが町単独で運行を開始しているようであるが、当町では、廃止代替バスとして現在3路線運行しているの、しばらくの間は、この模様等を見ながら方向づけを考えていきたいと思っております。

健康福祉センター

問 健康福祉センター「プラム」では、供用開始後に、駐車場の不足や階段から二階ロビーにかけての手すりの強度の問題、透視ガラスやトイレなどに問題が生じているようだが。

答 駐車スペースは、現在52台分であり、各種の検診が行われた場合には若干不足することもあり、先般も会議が重なった時に多少のトラブルがあったようである。今後は、一部緑地が空いているので、そこを駐車スペースに当てることも考えており、また検診と会議が重複しないように配慮したいと思っている。なお、階段の手すりについては、すでに取り付けが終わり丈夫にでき上がっており、その他の透視ガラスやトイレ等の問題につ



健康づくり事業の拠点となる健康福祉センター「プラム」

いては、今後、担当課に指示し、何らかの措置をしたいと考えている。

情報公開及び入札

問 ①情報公開については、平成10年度中に公開を前提として文書整理を完了し、実施する旨を述べていたがどこまで進んでいるのか。②入札のあり方、透明化についてはどのように考えているのか。

答 ①国の行政機関の保有する情報の公開に関する法律が平成11年5月14日から公布され、国の機関では、それから起算して2年以内に施行することになっ

ている。市町村においても、この法律の趣旨にのっとり、その保有する情報の公開に関して条例を定めるよう努めなければならないが、当町では、国の情報公開法の推移を見ながら、文書管理規程の見直し等を進めていたところであり、このようなことから、事務手続きが長引いてしまつた。今後は、各課から職員を選出し、役場の中にある全ての文書の洗い出しを行なうとともに、書庫の整理を全庁舎一斉に実施したいと考えている。そして、保全年限の見直し等を行なうとともに、保存文書については目録の作成を行ない、情報公開に対応できる文書の検索方法の検討や情報公開条例の素案づくりを行うなど、2001年の条例制定に向けて準備を進めてまいりたいと考えている。②町発注の公共工事の入札に関しては、建設工事等指名競争入札参加資格審査申請者登録簿に登録された業者の中から、特に大きな工事を除き、町内業者育成の見地から町内業者を中心に指名を行なっている。入札結果については、町の広報紙によって町民のみなさんにお知らせしているところであり、また、希望者には、入札経緯を含め、入札結果が閲覧できるように対応しているところでもある。入札に関しては、